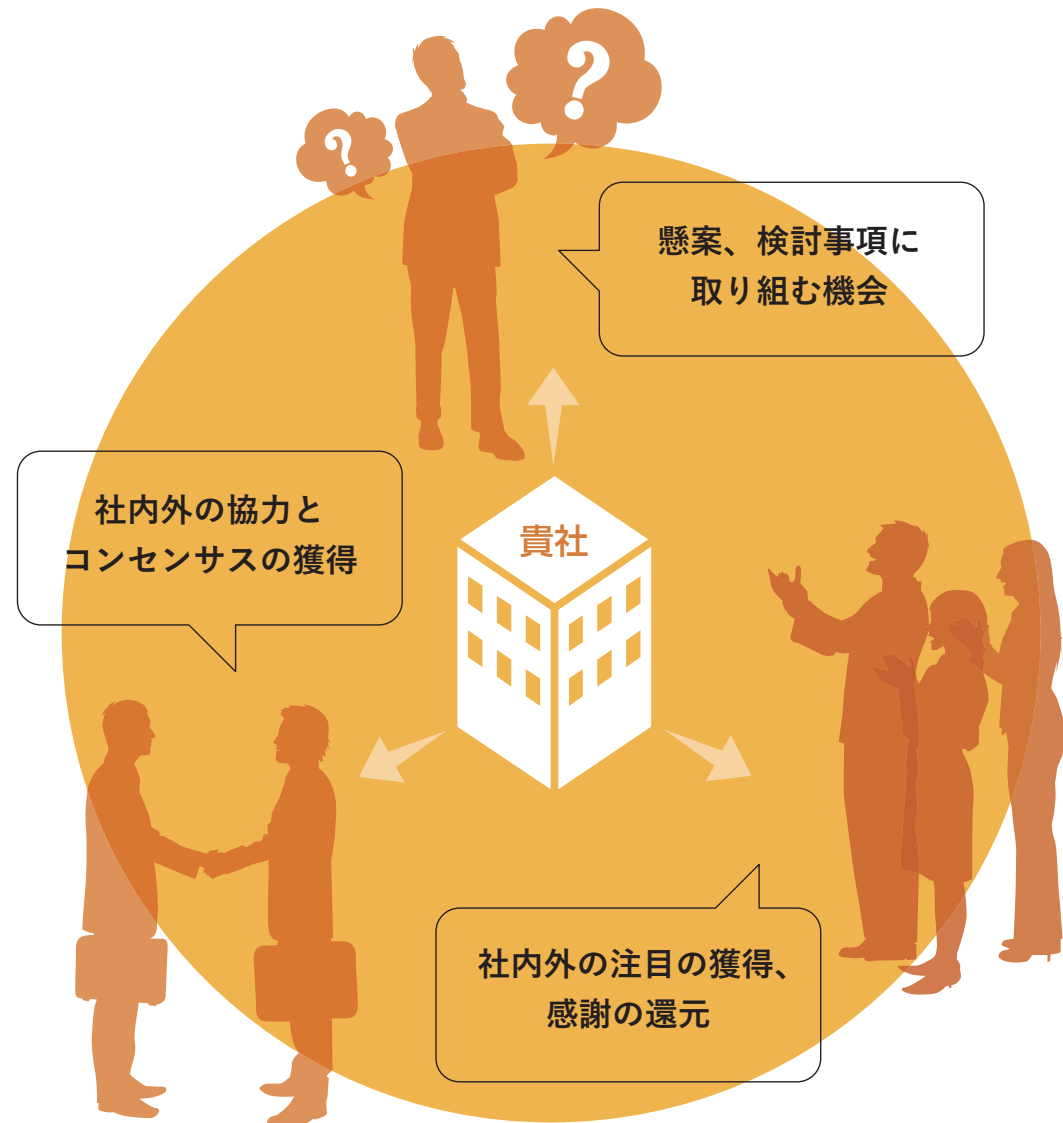

周年事業

ご案内資料

周年事業の意義

創立、設立の節目にあたる年は、自社の可能性を社内外にコミュニケーションできる機会であると同時に、企業価値をさらに高める大切な時期と言えます。また、その年に実施する周年事業には右記のような3つの意義があります。

これらを踏まえながら節目の年を単なるお祝いの年で終わらせるのではなく、貴社がこれから切り開く未来を見据え、より地域に根差した企業として繁栄し続けるための事業をご提案させていただきます。



周年事業の方向性

節目の年は、内外を問わず、全てのステークホルダーに対して直接的なコミュニケーションを図ることができるチャンスです。
そのタイミングに様々な施策を講じることで、次のような効果が期待できます。

自社らしさ、 強味を認識する。

1

これまでの過去を振り返り、自社の強みとは何かを再認識し、組織としてさらなる事業拡大に向け、新分野等への取り組みに着手する契機とします。

売上げ拡大、 収益増を図る。

2

通常の営業活動では取り組めないようなキャンペーンの実施、またはメモリアルなサービス、商品の開発に取り組み業績向上を目指します。

広報戦略 立案の好機にする。

3

周年を機に各種広報・PR活動を通じて、自社のビジョンや戦略を積極的に発信することで、自社への期待や注目の獲得が期待できます。

社員のモチベーション アップを図る。

4

新制度の導入や人材開発、自己啓発機会の創出などを実施することで、社員のモチベーションを喚起、また自社への誇りや帰属意識を高めることができます。

周年事業のタイプ

周年事業は目的・対象別に様々な施策が考えられます。

主目的別に大きく6つのタイプに分けていますが、これらを組み合わせて周年事業として取り組んでいくことをおすすめします。

